



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月29日

上場会社名 カンロ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2216 URL <https://www.kanro.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 哲也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 阿部 一博 (TEL) 03 (3370) 8811  
CF〇財務・経理本部長  
半期報告書提出予定日 2024年8月6日 配当支払開始予定日 2024年8月26日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	15,563	8.9	2,343	32.2	2,355	31.5	1,767	42.9
2023年12月期中間期	14,292	18.5	1,772	72.4	1,791	66.5	1,236	69.3

  

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	126.34	—
2023年12月期中間期	89.05	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	25,796	15,843	61.4
2023年12月期	25,839	14,533	56.2

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 15,843百万円 2023年12月期 14,533百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	20.00	—	38.00	58.00
2024年12月期	—	35.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	6.1	3,810	12.4	3,830	11.6	2,800	13.7	199.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	15,315,604株	2023年12月期	15,315,604株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	1,269,086株	2023年12月期	1,393,503株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	13,990,098株	2023年12月期中間期	13,889,661株

※ 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託口）の保有する当社株式（2024年12月期中間期346,500株、2023年12月期471,000株）が含まれております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、[添付資料] 3ページ「(4)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) キャッシュ・フローの状況	P. 3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 中間財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 中間貸借対照表	P. 4
(2) 中間損益計算書	P. 6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(収益認識関係)	P. 8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、個人消費等の持ち直しに足踏みが見られながらも緩やかに回復しています。しかしながら、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念などから海外景気の下振れが景気下押しのリスクとなっており、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等、先行きは依然不透明な状態が継続しています。

キャンディ市場におきましては、価格改定の浸透もあり、各カテゴリー並びに市場全体でも販売金額は前年を上回って推移しています。当社の主要ドメインについては、飴カテゴリーは、セルフケアの高まり継続により、ど飴が堅調に推移し、グミカテゴリーは、ハード系商品が牽引し高い成長を続けております。

このような事業環境において、当社は企業パーパス「Sweeten the Future 心がひとつぶ、大きくなる。」の下、「中期経営計画2024」の最終年度である当期においても3つの事業戦略（「価値創造」・「ESG経営」・「事業領域の拡大」）を着実に推し進めており、当中間会計期間の売上高は、前中間会計期間比12億70百万円(8.9%)増収の155億63百万円となりました。

飴は、商品アイテムの絞り込みと人員増強等の生産体制整備により、ど飴需要の高まりに対応し、前中間会計期間比1億3百万円(1.4%)増収の74億49百万円となりました。製品別では、休売・終売商品の減少を、ど飴群と2月から価格改定を実施している「金のミルクキャンディ」シリーズがカバーしました。グミは、前中間会計期間比11億21百万円(16.9%)増収の77億74百万円となり、中間会計期間として初めて飴の売上高を上回りました。製品別では、「マロッシュ」の伸び悩みや輸入商品販売の減少があるものの、主力ブランドである「ピュレグミ」シリーズが、「ピュレグミプレミアム」の伸長やTVCMによるプロモーション効果と3月からの価格改定が相俟って大きく販売増となりました。更に、直営店舗ヒトツブカンロ(4月に2店舗目の常設店を東急プラザ原宿「ハラカド」にオープン)・デジタルプラットフォーム「Kanro POCKeT」での高付加価値商品「グミッツェル」も依然好評を博しています。素材菓子は、前中間会計期間比40百万円(13.9%)増収の3億31百万円となりました。

利益面では、原材料価格の値上がり基調は円安と共に継続しておりますが、上述の通り一部商品の価格改定及び内容量の変更を実施することで対応し、グミを中心とする販売・生産増による限界利益の増加により、売上総利益は前中間会計期間比6億21百万円(10.5%)増益の65億41百万円となりました。

営業利益は、業容拡大等に向けた人件費・一般費の増加に対し、施策時期のズレにより広告宣伝費が減少し、前中間会計期間比5億70百万円(32.2%)増益の23億43百万円、経常利益は、前中間会計期間比5億64百万円(31.5%)増益の23億55百万円となりました。

また、中間純利益は、政策保有株式の縮減による特別利益の計上により、前中間会計期間比5億30百万円(42.9%)増益の17億67百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ43百万円(0.2%)減少し、257億96百万円となりました。

これは主に現金及び預金が5億12百万円、有形固定資産が8億17百万円増加しましたが、売掛金が10億30百万円、繰延税金資産が2億74百万円減少したことによるものです。

負債の部は、前事業年度末に比べ13億52百万円(12.0%)減少し、99億52百万円となりました。

これは主に未払費用が3億17百万円増加しましたが、買掛金が1億75百万円、未払金が2億90百万円、未払法人税等が3億58百万円、賞与引当金が5億40百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、前事業年度末に比べ13億9百万円(9.0%)増加し、158億43百万円となりました。

これは主に中間純利益17億67百万円の計上と配当金5億46百万円の支払によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)の期末残高は、前事業年度末に比べ5億12百万円増加し、42億74百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、24億50百万円の資金増(前年同期は23億7百万円の資金増)となりました。

これは法人税等の支払などがあったものの、営業収入などにより資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億54百万円の資金減(前年同期は7億20百万円の資金減)となりました。

これは設備投資などの支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億83百万円の資金減(前年同期は2億30百万円の資金増)となりました。

これは配当金の支払などによるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期業績予想につきましては、2024年6月24日付「第2四半期(累計)及び通期業績予想並びに中間配当及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で発表したとおりであります。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,821,803	4,334,177
売掛金	8,558,076	7,527,274
商品及び製品	959,854	960,526
仕掛品	33,684	128,211
原材料及び貯蔵品	374,154	384,174
その他	188,752	272,780
流動資産合計	13,936,325	13,607,144
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,531,136	7,570,914
減価償却累計額	△4,270,912	△4,415,578
建物(純額)	3,260,224	3,155,335
機械及び装置	13,798,759	14,999,630
減価償却累計額	△9,999,499	△10,349,362
機械及び装置(純額)	3,799,259	4,650,268
土地	1,497,829	1,497,829
その他	2,946,768	2,993,031
減価償却累計額	△2,153,736	△2,207,665
その他(純額)	793,031	785,366
建設仮勘定	392,169	471,213
有形固定資産合計	9,742,515	10,560,013
無形固定資産	375,009	444,812
投資その他の資産		
投資有価証券	226,856	161,292
繰延税金資産	1,125,951	851,342
その他	432,586	171,433
投資その他の資産合計	1,785,394	1,184,068
固定資産合計	11,902,919	12,188,893
資産合計	25,839,244	25,796,038

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,729,338	2,553,675
未払金	1,123,393	832,732
未払費用	2,438,952	2,756,091
未払法人税等	803,236	444,714
賞与引当金	1,022,376	482,141
役員賞与引当金	165,500	64,150
その他	348,858	232,192
流動負債合計	8,631,655	7,365,697
固定負債		
退職給付引当金	2,291,931	2,317,218
役員株式給付引当金	205,534	131,253
その他	176,222	138,765
固定負債合計	2,673,688	2,587,237
負債合計	11,305,344	9,952,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,577,892	2,577,892
利益剰余金	9,845,310	11,065,871
自己株式	△841,285	△741,387
株主資本合計	14,446,167	15,766,626
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	87,723	76,515
繰延ヘッジ損益	9	△39
評価・換算差額等合計	87,733	76,476
純資産合計	14,533,900	15,843,102
負債純資産合計	25,839,244	25,796,038

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	14,292,430	15,563,157
売上原価	8,372,001	9,021,461
売上総利益	5,920,428	6,541,695
販売費及び一般管理費	4,147,839	4,198,337
営業利益	1,772,589	2,343,358
営業外収益		
受取利息	27	33
受取配当金	3,005	1,881
売電収入	5,477	4,437
受取ロイヤリティー	5,399	3,333
その他	8,734	6,695
営業外収益合計	22,644	16,380
営業外費用		
支払利息	650	790
売電費用	2,802	3,055
その他	732	179
営業外費用合計	4,185	4,025
経常利益	1,791,047	2,355,714
特別利益		
投資有価証券売却益	—	75,720
会員権売却益	—	713
特別利益合計	—	76,433
特別損失		
固定資産売却損	224	0
固定資産除却損	13,591	201
減損損失	5,206	2,105
会員権売却損	200	—
特別損失合計	19,222	2,306
税引前中間純利益	1,771,825	2,429,841
法人税、住民税及び事業税	304,822	382,771
法人税等調整額	230,168	279,571
法人税等合計	534,991	662,342
中間純利益	1,236,834	1,767,498



## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	1,771,825	2,429,841
減価償却費	591,915	728,250
賞与引当金の増減額(△は減少)	△452,469	△540,234
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△53,124	△101,350
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△35,151	25,287
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△13,659	△74,280
受取利息及び受取配当金	△3,032	△1,914
支払利息	650	790
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△75,720
会員権売却損益(△は益)	200	△713
固定資産売却損益(△は益)	224	0
固定資産除却損	13,591	201
減損損失	5,206	2,105
売上債権の増減額(△は増加)	922,337	1,030,802
棚卸資産の増減額(△は増加)	△337,773	△105,219
仕入債務の増減額(△は減少)	260,422	△175,663
未払費用の増減額(△は減少)	209,287	317,138
未払消費税等の増減額(△は減少)	△50,436	△12,519
その他	△259,505	△266,830
小計	2,570,508	3,179,970
利息及び配当金の受取額	3,033	1,914
利息の支払額	△21	△790
法人税等の支払額	△265,635	△730,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,307,884	2,450,605
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△669,892	△1,729,925
無形固定資産の取得による支出	△55,114	△104,182
差入保証金の回収による収入	—	250,000
投資有価証券の取得による支出	△565	△555
投資有価証券の売却による収入	—	125,690
貸付金の回収による収入	600	450
会員権の売却による収入	4,800	3,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△720,171	△1,454,924
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	—
リース債務の返済による支出	△16,952	△24,285
自己株式の純増減額(△は増加)	19,097	85,385
配当金の支払額	△271,543	△544,407
財務活動によるキャッシュ・フロー	230,602	△483,307
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,818,314	512,373
現金及び現金同等物の期首残高	2,250,808	3,761,803
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,069,122	4,274,177

## (4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、菓子食品事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
飴	7,346,628	51.4	7,449,755	47.9
グミ	6,652,828	46.6	7,774,320	50.0
素材菓子	290,898	2.0	331,265	2.1
その他	2,075	0.0	7,815	0.0
顧客との契約から生じる収益	14,292,430	100.0	15,563,157	100.0
外部顧客への売上高	14,292,430	100.0	15,563,157	100.0

(注) 「その他」は、食品以外の雑貨類であります。